福岡記念病院の夜は眠らない。
365日24時間体制で臨む救急医療

INFORMATION
総合案内

日本医療機能評価機構認定病院
一般病院２・救急医療機能

外国人患者受入れ医療機関
認証制度

ジャパン インターナショナル
ホスピタルズ

社会医療法人大成会 福岡記念病院
FUKUOKA KINEN HOSPITAL

病院理念

地域住民が求める安全で信頼される医療を行う

基本方針

患者様中心の医療

患者様の人格・権利を尊重します。診療内容を説明し、納得された医療を行います。

適切な医療水準

専門知識・技術の修得に努め、診療の質を高めます。根拠・医の倫理に基づいたチーム医療を行います。

地域との積極的な連携

医療連携を図り、地域の健康増進に寄与します。地域救急医療の中心的役割を担います。

救急医療体制の強化を中心に安全で信頼される医療提供をめざして

「地域住民が求める安全で信頼される医療を行う」という理念の背景には、病院が一方的に考える医療では決して患者さまを満足させることはできない、患者さま、地域住民の声を反映させた医療でないといけないという思いと、今、最も求められているのは事故のない安全な医療であり、患者さまの安全を守り、安心して医療を受けられる環境を整えることが、医療提供者の責務であるという意味が込められています。

永きに亘る地域の皆様ならびに医療関係者の福岡記念病院に対するご支援とご協力に対して衷心よりお礼申し上げます。

当院は昭和 34 年 1 月 1 日開設で 59 年を経過いたしました。

診療科目は 36 科目、病床数 239 床の一般病床の急性期病院であり、大成会は福岡記念病院と福岡記念 PET・健診センターを経営しています。

病院は厚生労働省基幹型臨床研修病院、後期研修のための 10 学会の認定・専門医研修施設、又外国人医師に対する厚生労働省臨床修練病院です。地域医療支援病院、災害拠点病院、DPC 対象病院、7 対 1 看護、ICU・CCU6 床、HCU12 床・6 床、移植の臓器提供病院でもあります。

今後更に教育医療機関として、また地域医療連携強化を図り、地域医療の担い手として努力していく所存です。

社会医療法人大成会
理事長　黒田　康夫

日本医療機能評価機構認定病院
一般病院 2・救急医療機能

外国人患者受入れ医療機関認証制度
（JMIP）認証病院

概　要

福岡記念病院

名　　称	社会医療法人 大成会　福岡記念病院
所　在　地	〒814-8525 福岡市早良区西新１丁目 1-35
電話・FAX	TEL.092-821-4731（代） FAX.092-821-6449
ホームページ	http://www.kinen.jp/
開　設　者	黒田　康夫
病　院　長	上野　高史
開設年月日	1959 年１月１日
病　床　数	239 床（５病棟 一般、ICU・CCU ６床、HCU12 床・６床）
看 護 体 制	７対１　（５病棟）
職　員　数	700名　医師数：常勤60名、非常勤100名
建 物 概 要	本　　館　鉄筋コンクリート造７階建 総延床面積 6,454 ㎡ 南　　館　鉄筋コンクリート造 地下１階地上５階 総延床面積 4,663 ㎡ リハビリ棟　８階建　延床面積 2,693 ㎡ リニアック棟　５階建　延床面積 1,058.24 ㎡

■施設認定

日本医療評価機構認定病院
（一般病院２、付加機能：救急医療機能）
外国人患者受入れ医療機関認証病院
（一般財団法人日本医療教育財団）
ジャパンインターナショナルホスピタルズ
（一般社団法人 Medical Excellence JAPAN）

■指　　定

・地域医療支援病院　・基幹型臨床研修病院
・臨床修練病院　・福岡県災害拠点病院
・保険医療機関　・救急告示　・助産施設　・労災保険
・生活保護　・原爆医療　・結核指定　・DPC 対象病院
・へき地医療拠点病院　・DMAT 指定医療機関
・日帰り人間ドック（全日本病院協会）
・１泊２日人間ドック（日本病院会）
・全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診指定
（協会けんぽ生活習慣病予防健診）

■外来受付時間

平　　日	８：30 ～ 16：30
土　　曜	８：30 ～ 11：30
日・祝日	休診

※ 但し、急患についてはいつでも受付します。

■外来診療時間

平　　日	８：30 ～ 17：00
土　　曜	８：30 ～ 12：00
日・祝日	休診

※ 但し、急患についてはいつでも診療します。

■研修施設

・厚生労働省 基幹型臨床研修病院
・厚生労働省 臨床修練病院
・日本救急医学会救急科専門医指定施設
・日本外科学会専門医制度修練施設
・日本整形外科学会認定医制度研修施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
・日本内科学会認定制度教育関連施設
・日本眼科学会専門医制度研修施設
・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
・日本神経学会専門医制度准教育施設
・日本感染症学会認定研修施設
・日本病理学会研修登録施設
・日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設
・日本麻酔科学会麻酔科認定病院

■診療科目

救急科	外科	血管外科	消化器外科	大腸・肛門外科
呼吸器外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	心臓血管外科
肝臓外科	脊椎・脊髄外科	乳腺外科		
内科	感染症内科	糖尿病・内分泌内科	リウマチ科	消化器内科
脳神経内科	循環器内科	呼吸器内科	肝臓内科	
リハビリテーション科	婦人科	小児科	泌尿器科	皮膚科
耳鼻咽喉科	眼科	精神科	麻酔科（竹内広幸）	病理診断科
臨床検査科	放射線科	歯科・歯科口腔外科	インプラントセンター	
ガンマナイフセンター	結石破砕センター（胆石、腎尿管結石）			
人間ドック	脳ドック	心臓ドック		

福岡記念病院 フロア案内

本　館

- 7F　喫茶・売店　患者食堂　理容室　栄養科　厨房
- 6F　病室 601～625　ナースステーション
- 5F　病室 501～525　ナースステーション
- 4F　病室 101～125　ナースステーション
- 3F　手術室 1～4　放射線科(一般撮影・透視　断層撮影・血管造影・80 列 CT)
- 2F　外科　整形外科　脳神経外科　脊椎・脊髄外科　泌尿器科　糖尿病・内分泌内科　内科　感染症内科　呼吸器内科　消化器内科　肝臓内科　脳神経内科　循環器内科　皮膚科　心臓血管外科　形成外科　大腸・肛門外科　乳腺外科　消化器外科　肝臓外科　精神科　呼吸器外科　血管外科　リウマチ科　小児科　歯科・歯科口腔外科　中央処置室　内視鏡検査室　生化学検査室・生理検査室
- 1F　受付・会計　救急処置室・診察室　地域医療連携室　薬局　ATM　設備管理課　防災センター　医事課

南　館

- 5F　病室 550～561　ナースステーション
- 4F　病室 151～163　ナースステーション
- 3F　眼科　耳鼻咽喉科　ICU・CCU　病理検査室・細菌検査室
- 2F　婦人科　脳波検査室　化学療法室
- 1F　HCU(6 床・12 床)　結石破砕室　高気圧酸素治療室
- B1　ガンマナイフセンター　320 列 CT・RI

リハビリ棟

- 8F　研究室 1～4
- 7F　医療安全管理室　感染制御部　診療情報管理室　臨床工学室　救急部管理室
- 6F　財務・総務室　電子カルテ管理室　国際医療担当室
- 5F　リハビリテーション室
- 4F　リハビリテーション室　言語聴覚療法室 1～5
- 3F
- 2F　講義室
- 1F　MRI　無菌製剤室　栄養指導室

リニアック棟

- 5F　会議室 1～3
- 4F　図書室
- 3F
- 2F
- 1F　診察室
- B1　リニアック室　治療計画室　操作室

福岡記念 PET・健診センター

名　　称	社会医療法人 大成会 福岡記念 PET・健診センター
所　在　地	〒 810-0054 福岡市中央区今川 2 丁目 16-16
電話・FAX	TEL.092-739-0110 FAX.092-739-0212
ホームページ	http://www.f-pet.jp/
開　設　者	黒田　康夫
施　設　長	金子 恒一郎
開設年月日	平成 19 年 11 月 1 日
標榜診療科	内科、放射線科、消化器内科、産婦人科

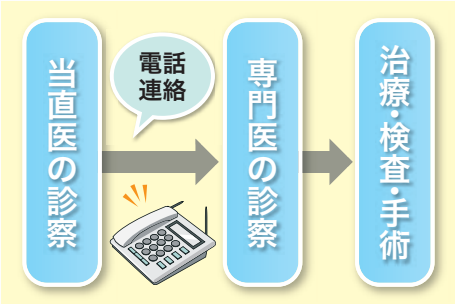
Emergency Care

救急医療

365 日 24 時間体制

当院は年間約 5,400 件超の救急車を受け入れており、地域救急医療の中心的役割を担っています。平成 27 年からは HCU18 床を設置し、重篤患者さん等の受入態勢をより一層充実、強化いたしました。救急外来部門は一般の外来診療部門からは独立して設置しており、トリアージ、処置、検査、診察、観察、処置的小手術等に対応する広いスペースを確保しています。また、血液化学検査、放射線検査、生理検査、手術が迅速かつ適切に行える配置にしています。緊急手術は無菌手術室を含み 4 手術室を所持し、常時手術体制が整えられています。さらにオンコール制で各科の専門医が迅速に診療に対応できる体制をとっています。専属の医師・看護師を中心として、院内各科各部門の全面的な協力のもと、最適な医療を提供しています。重症の患者さんが即座に ICU に入れるように、空床確保にも努め、受け入れ態勢を整えています。また、福岡県医療計画の二次救急医療をはじめ、輪番制救急医療、更には災害発生時の医療受け入れなども行っております。

福岡記念病院の夜は眠らない。
365 日 24 時間体制で臨む救急医療



専門医オンコール体制

当院では、休日や時間外でも、必要に応じて各診療科の専門医にすばやく連絡できる「専門医オンコール体制」があります。当直医だけでなく専門医による診療・検査・手術がいつでも可能です。

365 日 24 時間体制

TEL：092-821-4731　FAX：092-821-6449

救急受け入れ体制の充実

当院は、昭和 42 年 2 月に救急告示病院として認可を受け、以来福岡市の救急医療の中心的存在として、地域住民の皆様がいつでも安心して診療が受けられる環境作りに取り組んで参りました。
救急医療の原点でもある「重症、軽症を問わず、先ず診療を」を基本姿勢として、365 日 24 時間体制で診療にあたっています。

救急車

他の医療機関様からのご紹介には、当院専用の救急車が必要に応じて患者さまをお迎えに参りますので、いつでもご連絡下さい。

当院救急当番一覧

	外科二次当番	内科二次	病院群輪番	土曜夜間内科二次
	福岡市救急病院協会	福岡県私設病院協会	福岡市医師会	福岡市医師会
時間帯	休日（8：30～翌8：30）	平日（19：30～翌7：00）	平日（18：00～翌8：00）	土曜（18：00～翌8：00）
		休日（9：00～翌8：00）	休日（8：00～翌8：00）	

Diagnosis 診断

迅速かつ的確に

当院は急性期医療をメインとした診療を行う病院。だから医師の診断はスピーディであることが要求されます。もちろん判断の過ちは許されません。こうした中で、医師の迅速で的確な診断に役立つのが、最新の医療機器なのです。当院の医療機器のグレードは高く、短時間で高精度の情報を医師に提供する事ができます。また、最近の機器は検査を受ける患者様にとって、より苦痛の少ない「人に優しい装置」へと変わってきているのも特徴です。こうして得られた情報を基に医師は診断し、患部の画像を示しながら本人や家族への病状を説明して、一緒に治療計画を話し合っていきます。画像を使っての説明は明確で分かりやすいため、本人や家族の理解と同意が得られ易く、より効果的な治療を開始する事ができます。

最新検査機器を積極的に導入して迅速で高精度、苦痛のない検査を目指す

3.0 テスラ MRI

3.0 テスラ MRI は、脳や脳血管、脊椎、四肢などの病巣に関して、より正確に明瞭な画像を描出できる圧倒的な検査能力をもった装置です。また、患者さんへの検査環境負担の改善のため、従来の装置よりも筒が広く閉塞感や圧迫感を低減しています。さらに体動による画像のブレを抑制する撮像技術を搭載したり、頭部検査の一部の検査では音のしない撮像法が可能になったり、撮像範囲を絞って高分解能な拡散強調画像を得ることができるなど、最新の撮像が可能となっています。

1.5 テスラ MRI

MRI（磁気共鳴画像）とは、強力な磁石でできた筒の中に入り、磁気の力を利用して体の臓器や血管を撮影する装置です。X線を使いませんので、放射線被ばくの心配はありません。MRI のテスラとは、磁力の大きさをあらわす国際単位です。その数値が大きいほど、短い検査時間で質の高い画像を描出することが出来ますが、検査部位や目的によっては、テスラの低い方の検査結果が優れている場合もあり、当院では２台を稼働しています。

320 列 CT

脳から足先まで、身体のあらゆる場所の状態を、数秒から数十秒という短時間で画像として描出することのできる、救急医療に欠かすことのできない装置です。現在は、多列検出器を備えた MDCT が主流となり、当院も早くから 320 列 MDCT を設置、迅速な画像診断に寄与しております。複雑骨折や全身の血管の状態、またこれまで CT では知ることのできなかった心臓の血管（冠動脈）の様子まで把握することが可能になりました。

DSA（血管造影）

DSA 装置は、造影剤という薬剤と X 線を使い、身体の血管を描出して、病気の状態を知るための検査です。通常、X 線撮影では、血管以外の臓器（骨など）も写しだされますが、DSA では、画像をデジタル処理することにより、血管だけを描出することが可能です。この処理により、他の臓器によって隠れてしまう細かい病変も正確に描出することができます。

RI（ラジオアイソトープ）検査

体内に、ごく微量の放射線を発する薬剤を注射して、特殊なカメラを用いてその放射線を体外から検出することによって、画像を得る検査です。使用する薬剤の種類によって、体内のあらゆる臓器の状態を検査することが可能になります。当院では、心筋の状態を把握するための心筋シンチや、脳内の血流状態を把握する脳血流シンチ、骨折や骨の炎症、腫瘍などを検知する骨シンチなどを中心に検査しております。

CR（コンピューテッド・ラジオグラフィ）

以前の X 線撮影では、フィルム 1 枚に写しだされる情報量は限られていましたが、現在は撮影した画像にデジタル処理を施すことにより、より多くの身体情報を引き出すことが可能になりました。また、これらの画像情報は、院内に設置されている端末から参照が可能であり、診察室でも病棟でも、常に同じ情報を持った画像を見ることができ、スムーズな診察や処置を手助けしています。

Medical Care

治　療

機能分化とチーム医療

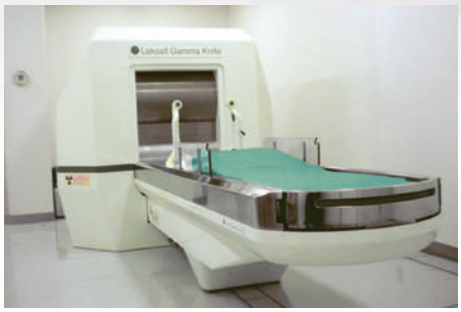
医療は日々進歩し、専門性を増していきます。また、患者様のニーズも多様化し、もはや一人の医師だけでは応えられない時代が来ています。こうした中で効果的な治療を行うには、どうすればいいのでしょうか。

当院では、担当医だけでなく必要に応じて他科の専門医が治療にあたる態勢をとっています。また、最新機器を十分に活用できるかどうかは、コ・メディカルスタッフの技量に負うところが大きいでしょう。こうした病院内 36 診療科目の専門医たち、様々な機器を扱うコ・メディカルスタッフたち、そして、栄養士や調理師といった専門家同士がチームを組んで一人の患者様の治療にあたるのが、当院がかかげる機能分化とチーム医療なのです。

患者様に肉体的精神的に負担をかけない「メスを使わない治療・手術」が増えてきました

リニアック治療

リニアック治療とは、直線加速器と呼ばれる装置で高エネルギーの放射線を発生させ、主にがんなどの治療をする方法です。基本的には頭から四肢まで、全身のあらゆる部分でも治療が可能で、病変細胞内の遺伝子に作用し、がんの治療や増殖の抑制、痛みの緩和などが期待されます。いずれの場合も予め CT 画像を用いて、精密な治療設計を行います。手術と異なり臓器を摘出しないため、体力的に衰えがある患者さんにとっても負担が最小限に抑えられる治療方法です。



ガンマナイフ

Gamma Knife とは、読んで字の如く、周囲正常脳組織を傷つける事なく γ 線を用い、まるで脳病変をナイフで切り取るが如く根治せしめる治療法です。
201 個のコバルト 60 線源が半円球状かつ同心円状に配置され、それぞれから放出された γ 線が丁度その中心に収束するように設計されています。1990 年 4 月 1 日より保険適応となり、当院には 1999 年に国内第 26 号機として導入されました。

内視鏡治療

内視鏡は、胃や大腸の検査にとどまらず、治療の重要な道具として使われ、近年、身体に負担を出来る限りかけない治療や、緊急時の治療の手段として欠かせないものとなっています。
ポピュラーな例としては、大腸ポリペクトミー（内視鏡的ポリープ切除術）があり、開腹手術を行うことなく大腸内のポリープを切除・摘出できます。

内視鏡下手術

色々な病気に対して手術が必要なとき、従来は、お腹や胸を大きく皮膚切開して手術をしなければなりませんでした。ところが、近年の様々な医療機器の発達により、現在では従来のように大きく皮膚を切り開くことなく、小さな穴（直径 2mm ～ 10mm）を皮膚に数ヶ所あけ、この穴だけで手術をすることができるようになりました。 傷が小さい為、痛みも少なく、治療に要する時間も費用もその負担が軽く、患者さんに優しい治療法と云えます。

体外衝撃波結石破砕治療

体外衝撃波結石破砕療法（ESWL）は、体にメスを当てずに、体の外から特殊な音波を結石に当てて、細かく砕いて体の外に排出させる治療法です。結石の状態によって治療の方法及び治療期間は違いますが、原則として日帰りでの治療が可能で、治療時間自体は約 1 時間ほどです。また手術傷もありませんので、当日から一般生活が可能です。体外衝撃波破砕治療は、腎、尿管結石、胆石症、総胆管結石に対して、健康保険での支払いが認められています。

IVR（インターベンショナルラディオロジィ）

IVR とは、放射線検査を用いながら治療を行うことです。主に血管造影と同時に行う治療を指します。当院では、脳動脈瘤に対するコイル塞栓術や、腫瘍へと繋がる血管を塞栓物質によって塞いで腫瘍をしぼませる血管塞栓術などが、主に施行されています。

看護部

看護部の理念

常に社会と医療の動向に目を向け、安全で信頼される良質の看護を提供します

基本方針

- 患者さんの人間性を尊重し生命の安全を確保します。
- 患者さんの意志決定の支援を行います。
- 地域との連携を密に行い、継続看護の充実を図ります。
- 自己研鑽を重ね、専門職としての能力開発の向上に努め、組織の活性化に繋げます。
- 情熱と誇りを持った看護人を目指します。

私達の看護

センサリー・ナーシング

～患者さんの声に耳を傾け、看て、触れて、考える看護～

リハビリテーション科

患者様とのコミュニケーションを大切にし、早期回復に向け入院治療のサポートを行います

急性期医療の現場で、患者様の早期退院、早期回復に向け専門スタッフが治療の一環としてリハビリテーションを提供しています。

「地域に根ざした急性期リハビリテーションの確立」を目標に、専門性の高いリハビリテーションを 365 日体制で実施しています。

医療福祉相談

病気や怪我に伴って、療養や社会生活を送る上で困った問題が生じた時、患者様やご家族が自ら問題解決できるよう援助するために、また、診療を妨げる問題を除去し、円滑な治療の進行に協力するために、専門の相談員（医療ソーシャルワーカー）が、次の様な事を行っています。

1. 社会保障、社会福祉制度及び施設に関する情報の提供と調整
2. 患者様やご家族の悩みを共感しながら傾聴し、考えを整理する過程のお手伝い
3. 院内及び地域の医療社会活動の普及

お気軽にご相談ください。

※ 相談無料　　※ 秘密厳守

福岡記念病院 TEL（代表）092-821-4731

セカンドオピニオン外来

セカンドオピニオンとは、「現在受けている自分の病気の診断内容や治療方針について、他の医師の意見を求める」ことをいいます。

主治医の意見のみならず、他の医師の意見も聞いて総合的に判断し、納得の上で治療を受けていただく事を支援するものです。

医師任せではなく、「十分な情報を得た上で自らが選択したい」、「納得した上で治療を受けたい」と考える患者さまが増えてきました。納得した上で治療を受けることは大切な事であり、それは治療を施す医療者の側にとっても望ましいことです。

当院でも、こういった患者さまのご希望に答えるため、また納得した上で治療を受けていただくためにセカンドオピニオン外来を開設いたしました。

地域医療連携室

地域医療連携室を中心に安心と信頼の輪を広げています

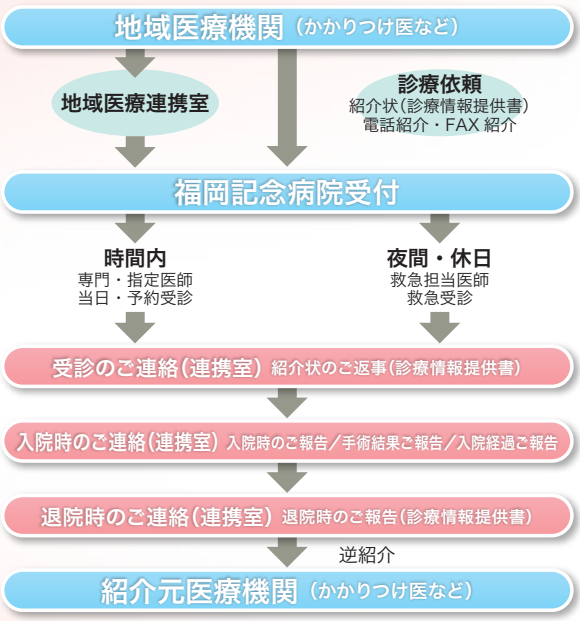
福岡記念病院では、地域の皆さまのかかりつけ医である診療所とネットワークを結び、「病診連携」による地域医療を行なっています。在宅医療の担い手としても大きな期待が寄せられている診療所と連携をとり、入院が必要な患者さまや高度な治療が必要な患者さまを受け入れたり、逆に症状が安定した患者さまをお返しするシステムです。

開放型病院の施設基準により、ご登録頂いている診療所の先生方には入院ベッドを開放し、急患の場合には休日、時間外でも受け入れ、ご紹介入院後は、必要に応じて当院の医師との共同診療も可能です。

地域の病院、介護老人保健施設、特別養護老人ホームとの連携も増えてきました。病院との連携で多いのは、MRI や CT、RI といった高度医療機器の検査依頼です。また、特養老人ホームなどの施設へは当院の医師を嘱託医として派遣しています。

また、当院は、「医療連携のつどい」（毎月第 2 木曜午後 7:00 ～）や、「健康教室」の開催など、地域医療の中核病院として、地域ぐるみのチームワーク医療を強化していくために様々な働きかけを行なっています。

地域医療連携の流れ



FUKUOKA KINEN PET KENSHIN CENTER

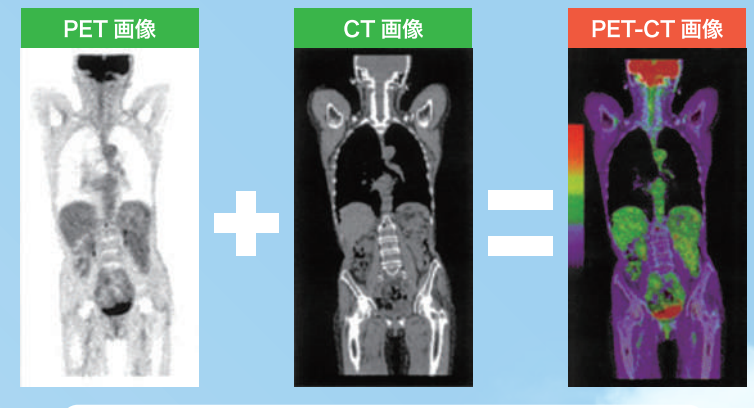
関連施設

福岡記念 PET・健診センター

PET-CT による専門性の高い健診

当センターは PET-CT を備えた健診専門施設として平成 19 年 11 月に開院いたしました。

PET 検査では、特殊な検査薬によって「がん細胞に目印をつける」ことができます。
その「病変をとらえる能力が高い PET」と「位置や大きさの把握が得意な CT」を同時に行うことで、より正確な画像を得られるため、従来の検査では発見が難しかったガンが、PET-CT を使うことにより早期の段階で発見することが可能になりました。



PET と CT の複合的な検査でより正確なガン診断が可能になります

また、人間ドック、企業健診、特定健診、がん検診など各種健診も行っており、皆様がより充実した健やかな人生を送るための基盤づくりをお手伝いします。

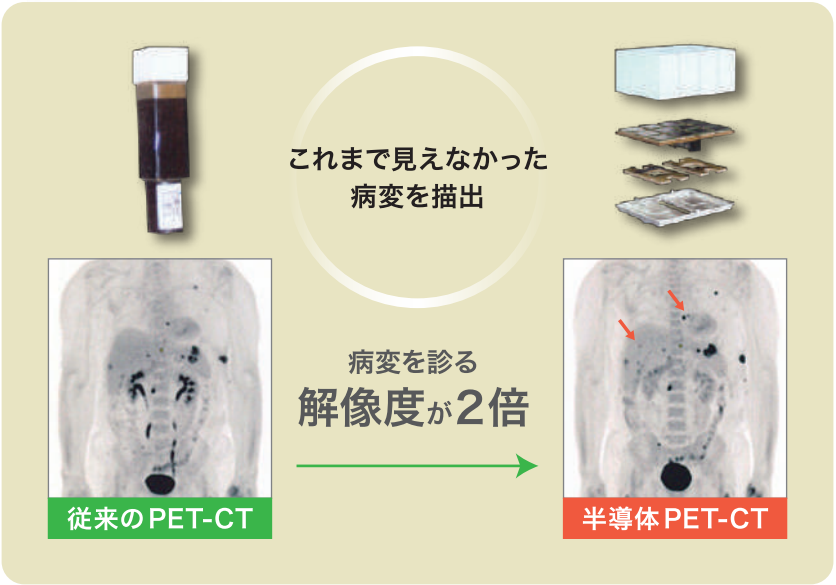
社会医療法人大成会 福岡記念 PET・健診センター

検査後のフォロー体制

検査後に診療が必要な場合は、同法人医療機関「福岡記念病院」にてご対応いたしますので、検査から治療まで切れ目のないフォローが可能です。

市内初稼働「半導体 PET-CT ドック」でガンの早期

当院では、平成 30 年6月、既存の PET-CT を**最新鋭半導体検出器搭載 PET-CT 装置**に更新いたしました。診断能の高い画像が得られるようになり、早期の腫瘍の検出が期待されます。



Point !

PET-CT検査の特徴と利点

1. 1 回の撮影で全身の検査ができる。
2. 検査での苦痛や痛みを伴わない。
3. 従来の検査では見つけにくいがん病変を高確率で発見。

人間ドック・脳ドック

生活習慣病の予防、ガンの早期発見を目的とした総合健診です。
脳ドックでは MRI を駆使して、無症候性の脳梗塞や脳腫瘍などを早期に発見します。

各種健康診断

- 特定健康診査
- 労働安全衛生法に基づく健康診断
- 全国健康保険協会管掌生活習慣病予防健診
- 福岡市がん検診（胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん・前立腺がん）
- その他健康診断

当院の検診装置

- PET-CT
- 多検出器 CT
- X線撮影装置
- 超音波診断装置
- 内視鏡装置（上部消化管、下部消化管）
- 経鼻内視鏡
- MRI 装置（記念病院）
- X線透視装置
- マンモグラフィ撮影装置

乳がん検診を受けやすく

小病変の抽出に威力を発揮し、スピーディな画像表示で検査時間も短く、受診される方の負担も減り、より検診が受けやすくなりました。

最新鋭のマンモグラフィ

Senographe Pristina™

乳房用X線診断装置

発見・早期治療

た。従来に比べて鮮明で高精度の

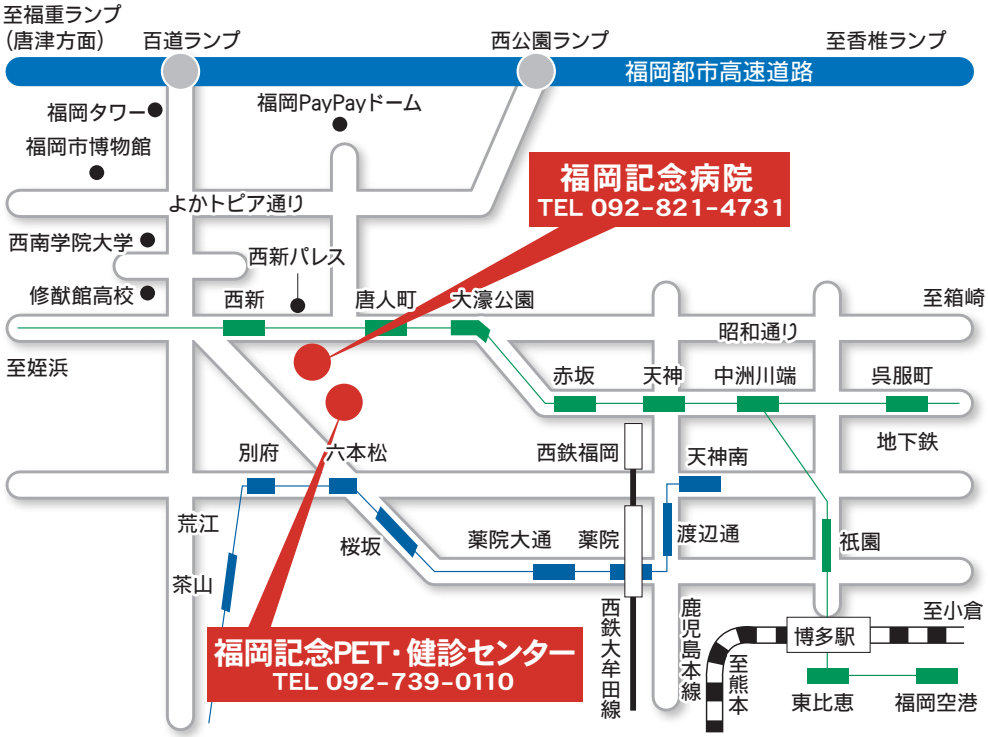
Discovery MI

GE ヘルスケア製の最新鋭 Digital PET/CT
半導体検出器搭載型 X 線 CT 組合せ型ポジトロン CT 装置

動画で見る PET-CT ドック

Access&Map

当院および所要時間のご案内



地下鉄で 西新駅までの所要時間

地下鉄西新駅、6番出口から

福岡記念病院へ	徒歩3分
福岡記念PET・健診センターへ	徒歩10分

西新 — 天神から 約7分 — 博多駅から 約13分 — 福岡空港から 約18分

バスで 今川橋バス停から

福岡記念病院へ	徒歩1分
福岡記念PET・健診センターへ	徒歩5分

今川橋 — 天神から 約15分 — 博多駅から 約25分

社会医療法人 大成会
福 岡 記 念 病 院
〒814-8525 福岡市早良区西新 1 丁目 1-35
TEL.092-821-4731 ㈹ FAX.092-821-6449
http://www.kinen.jp/

社会医療法人 大成会
福岡記念 PET・健診センター
〒810-0054 福岡市中央区今川 2 丁目 16-16
TEL：092-739-0110 FAX：092-739-0212
http://www.f-pet.jp/